

- このたびは東芝照明器具をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの東芝照明器具を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。
- この取扱説明書は同種類の製品と共通となっております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様・お客様へ

器具取り付けの際のご注意



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- この器具は丈夫なところに取り付けてください。薄いところ、弱いところに取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。



取り付け



- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。



改造



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因になります。
- 電源周波数50ヘルツ(Hz)60ヘルツ(Hz)用の区別がある器具は、必ず電源周波数にあった器具をご使用ください。間違えて使用されるとランプの寿命が短くなったり過熱して火災の原因になります。



電源電圧

- この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電、火災、絶縁不良の原因になります。
- 器具を取り付ける際、壁紙、クロス貼りなどの接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
- メッキや塗装などの変色やサビの原因になります。



湿度

- 暖房器具、ガス器具等の真上、付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。(この器具は、5°C~35°Cの温度範囲で使用するように、設計しております。)



温度



●お客様へ

使用上のご注意



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。
- ランプに水滴をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。ランプの破損によるけがや感電、火災等の原因になります。



電源を切って

- ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプのご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因になります。



確認してください

- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災等の原因になります。



可燃物



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になつておりますので、手を触らないでください。やけどの原因になります。



ランプ高温

- ランプホルダー使用の器具はランプホルダーを強くはじかないでください。ランプの破損、落下の原因になります。



- スイッチ引きひも付きの器具はスイッチの引きひもを器具や、ランプにからませないでください。また、引きひもを強く引いたり、はじいたりしないでください。ランプ、器具の破損、落下の原因になります。



■お手入れのしかた

常に明るく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
器具のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。

- カバーはぬるま湯または中性洗剤を浸し布をよくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。
 - ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- [ご注意]
- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
 - 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

- 電気部品を、洗剤や薬品等でふかないでください。
部品の劣化による感電や火災の原因となります。

- △警告
- 器具・ランプは水洗いしないでください。
故障、感電の原因になります。

- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。

東芝蛍光灯ブラケット取扱説明書

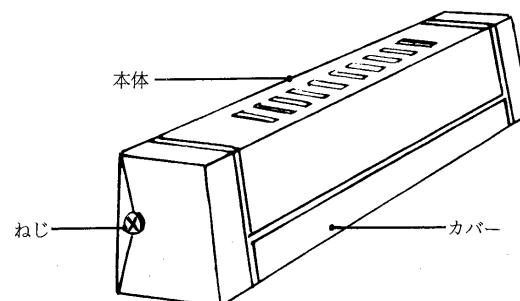
このたびは東芝蛍光灯ブラケットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよく読んでください。

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

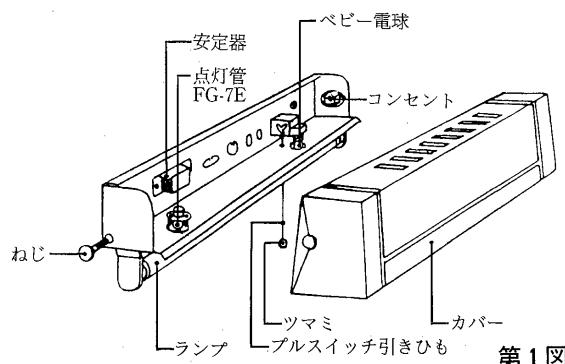
各部のなまえ

壁面専用形

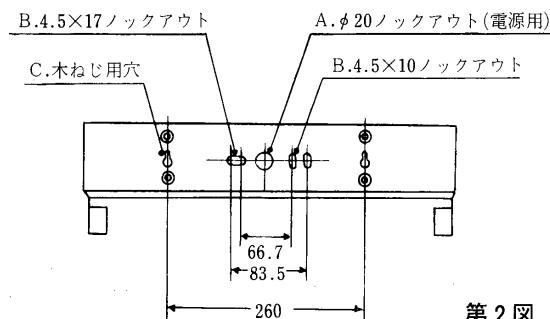


器具の取り付けかた

1. 第1図のようにプラスドライバーでねじをゆるめて本体からランプとカバーを（コンセントの反射側を先に）取りはずしてください。
2. 直接壁面に取り付ける場合、第2図のAノックアウトを打抜き、電源ブッシュをはめ込み、電源線を引き出してからC穴を使い、付属の木ねじで本体をしっかりと取り付けてください。（アウトレットボックスのカバーに取り付ける場合、Aノックアウトを打抜き、電源ブッシュをはめ込み、Bノックアウトを利用して取り付けてください。）



第1図

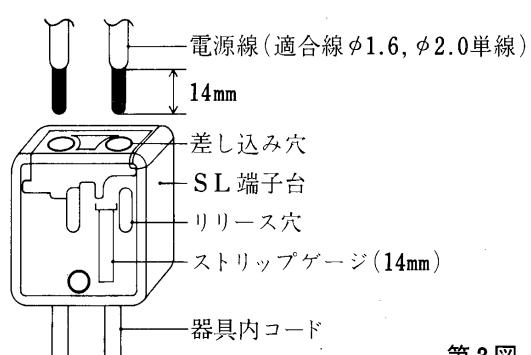


第2図

3. 電源線の被覆をSL端子台のストリップゲージに合わせて下さい。(第3図)
4. 電源線をSL端子台の差し込み穴に押し込んでください。

(第3図)

- 電源線をはずす時は電源を切ってからマイナスドライバーをリリース穴に差し込んで電源線を引抜いてください。
5. 本体取り付け後、カバー、ランプはもとのように取り付け（ランプの取り付けかた参照）プラスドライバーでねじをしっかりと締付けてください。



第3図

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了したら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOSHIBA

ランプ・点灯管の取り付けかた

1. ランプのピンをランプソケットの切り込みに差し込み90度まわします。
2. 点灯管がソケットに完全に取り付けられているか確認してください。

器具の正しい使いかた

1. プルスイッチ引きひも（ツマミ）を引きますと、次の順序で切り替えられます。



2. 1000ワットまでの電気製品のご使用ができます。またプルスイッチには接続されていませんから、蛍光ランプの点灯・消灯に関係なく、いつでも使えます。

特にご注意を

■器具には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をご使用ください。まちがえてご使用になりますとランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのもとになります。

- ・ご贈答、ご転居のときはご注意ください。
- ・電源周波数のちがった地域にご転居のときは、一部部品の交換が必要です。お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、周波数変更については実費を請求させていただきます。

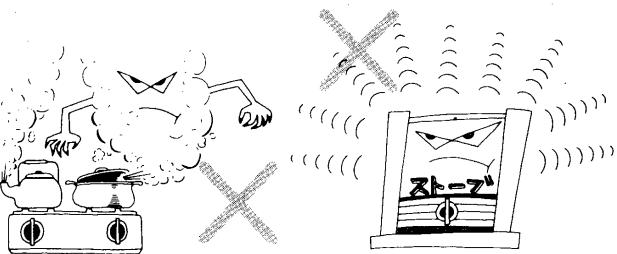
■この器具は壁面の丈夫なところに取り付けてください。

■器具に紙や布などをかぶせたりしないでください。火災やカバーの変形のもとになります。

■器具の改造やランプ以外の部品の交換は、絶対におやめください。性能が十分発揮できないばかりか大変危険です。

■この器具は屋内専用で5℃～35℃の温度範囲で使用するよう設計してあります。

■暖房器具の近くなど温度の高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所でのご使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のもとになります。



■ランプは端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。

■ランプを交換するときは、必ず電源を切ってください。

■ランプ交換の際には、

10Wの器具の場合 “東芝蛍光ランプ メロウホワイト FL10W”
とご指定ください。

(注) 東芝蛍光ランプ一般形も交換使用可能です。

■点灯管交換の際には、

10Wの器具の場合 “東芝点灯管FG-7E”
とご指定ください。

お手入れのしかた

■器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。



■器具が汚れたときは、やわらかい布を、せっけん水に浸しそくしづってからふきとってください。

■ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

■本体は電気掃除機またはハタキでホコリをはらうようにしてください。

■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。

■金属部分をクレンザーやたたわしでみがかないでください。
傷つけたり、腐食の原因となります。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。